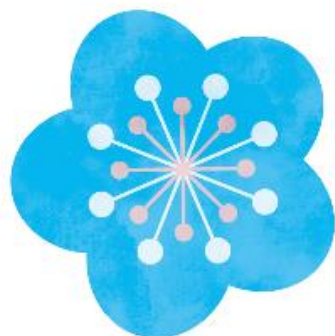


佐野市生涯学習フォーラム2026

「佐野楽」

～ 子どもから大人まで「見て・聞いて・話す」学びの場 ～

大会報告書



©佐野市
さのまる

期日：令和8年3月7日(土)～8日(日)

会場：佐野市田沼中央公民館

【主催】佐野市生涯学習フォーラム実行委員会、佐野市、佐野市教育委員会

【後援】全国生涯学習市町村協議会、栃木県教育委員会、
栃木県社会教育委員協議会、栃木県 PTA 連合会、
(一社)栃木県子ども会連合会、(株)下野新聞社、(株)とちぎテレビ、
佐野ケーブルテレビ(株)

【協力】聖徳大学生涯学習研究所、佐野日本大学短期大学、
(一社)佐野市観光協会、(一社)佐野青年会議所、佐野商工会議所、
佐野市あそ商工会、佐野市町会長連合会、佐野市 PTA 連合会、
男女共同参画ネットワークさの

目 次

主催者あいさつ	1
全体会	2
開会式典	
基調講演	
対談	
分科会	4
第1分科会　—ひと—	
「『ひと』“だれもがしあわせに暮らしていくために”」	
第2分科会　—まち—	
「地域の笑顔を未来へ	
～人の『つながり』を意識した事業をめざして～」	
楽習フェア	8
静のアート作品展	11
【資料】	
実行委員会経過	15
アンケート結果報告書	16
協賛一覧	28
実行委員名簿	29

佐野市長 金子 裕



佐野市生涯学習フォーラム「佐野楽」が、多くの皆様にご来場をいただき、盛大に開催できましたことを、心より感謝申し上げます。

近年、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しており、誰もがいきいきと活躍できる社会の実現が求められております。多くの方が活躍できる佐野市を創造するためには、社会情勢の変化や市民の多彩なニーズに応え、世代を超えて自己の能力と可能性を伸ばし、自己実現を図っていく生涯学習を一層推進していく必要があると考えております。

本フォーラムを機に皆様がまちづくりや、これからの社会でますますご活躍されますことをご期待申し上げます。

佐野市生涯学習フォーラム「佐野楽」 実行委員会 会長 永倉 文子



佐野市生涯学習フォーラムにご参加いただき、誠にありがとうございました。今年度は初めて田沼中央公民館を会場としましたが、当日は天候にも恵まれ、多くの来場者で賑わう活気あるフォーラムとなりました。ご来場いただいた皆さま、そして企画・運営にご尽力いただいた関係者の皆さまに、心より御礼申し上げます。

今回は、唐澤山神社の佐野由希子宮司に唐沢山の今昔や、「佐野市民が誇れる唐澤山神社」の歴史的・文化的価値についてご講話いただきました。唐沢山の魅力を再認識する貴重な機会となり、参加者から高い関心が寄せられました。また、作品展示や体験講座、ステージ発表など、多彩なプログラムを通して、テーマである「子どもから大人まで『見て・聞いて・話す』学びの場」を、会場全体で共有できたことを大変嬉しく思います。

本フォーラムが、皆さまにとって新たな学びや交流のきっかけとなり、今後の地域づくりや個々の活動の発展につながることを願い、ご挨拶とさせていただきます。

佐野市生涯学習フォーラム「佐野楽」

～子どもから大人まで「見て・聞いて・話す」学びの場～

大会報告書

佐野市生涯学習フォーラム、自ら進んで楽しく学ぶ「佐野楽」が、今年も多くの皆様にご来場いただき、盛大に開催することができました。佐野市文化会館の休館により、昨年度は葛生あくとプラザ、そして今年度は田沼中央公民館に会場を移しての実施となりました。天候にも恵まれ、会場となりのDAIKYOアリーナ佐野でのスポーツイベントなどもあって、会場外ではキッチンカーが数多く出店し、老若男女が賑やかに集う2日間となりました。

参加された方は「楽しかった」という感想を多く寄せてくださいました。今回のフォーラムでは佐野が大好きで色々なことをやっている高校生たちがいることを知ることができたので、今後は色々な活動をしている市民とのコラボがもっともっと生まれることを期待したいと思います。

開会式典

大ホールで行われた開会式典には、多くの市民のみなさんが出席されました。金子裕佐野市長、永倉文子大会実行委員会会長のあいさつで、佐野はこれまで生涯学習を自ら進んで楽しく学ぶという趣旨を込めた「楽習」として実践しており、このフォーラムが広く市民のみなさんに知っていただく機会となることを願っているという言葉に温かい拍手が送られました。



基調講演

今年は、唐澤山神社二十代目宮司の佐野由希子さんにご登壇いただき、「変わらぬ祈り 変わりゆく時代 ―地域に誇れる場所を目指す唐澤山神社―」と題して神社の今昔を語っていただきました。

唐澤山神社は、全国8万社の神社を包括する神社本庁が定めた由緒ある別表神社にあたります。その数は全体の1%に満たず、栃木県内では、日光二荒山神社、宇都宮二荒山神社とこの唐澤山神社の3社だけで、全国に誇れる場所だと説明していらっしゃいました。

佐野さんは、別表神社では全国でも5人だけという女性宮司のお一人で、女性宮司ならではの視点を活かし参拝客に唐澤山神社の新たな魅力を伝える工夫を凝らし注目を集めています。たとえば、境内では季節の花を浮かべた花手水、夏には天明鋳物の風鈴、紅葉時にはライトアップと

プロジェクションマッピングで彩り鮮やかに演出するなど、神社がより親しみやすい場所となる要素があちこちにちりばめられています。唐澤山神社は、唐沢山城跡に建てられたことからわかるように風光明媚な場所にあって、境内から眺める景色は素晴らしく、遠くスカイツリーまで見渡せるところです。昔から境内では武道大会が行われ、子どもたちの宿泊学習の場としても利用された経緯があり、市民にとって大変馴染み深い神社として親しまれてきました。

佐野さんは、そんな唐澤山神社は地域の皆さんに誇りに思っていたかないと発展はない。伝統を守りつつも、人が出会い、地域の絆を強める神社として力を尽くしていきたい。「どこの御出身ですか。」と聞かれて、「佐野です。」と答えたときに、相手から「ああ、あの唐澤山神社のあるところですね。」と、言ってもらえるくらいにみんなに知られ愛される神社、これからますます地域に誇れる場所にしていきたいと熱く語られました。



対談

佐野さんのお話の後、佐野高等学校SGクラブ唐沢山城班のメンバーである2年生の富田隼斗さん、毛塚良太郎さん、1年生の嶋崎雄大さんとの対談が行われました。3人は、唐沢山城跡の魅力を広く発信するために1年半という歳月をかけて文献や専門家の助言をもとにパンフレットを製作し、さらには中学生を対象とした本づくりの完成を目指しているそうです。また、城跡を訪れた人が購入できる記念品として御城印の製作にも取り組んでおり、唐沢山城をはじめ、市内に確認されている約69か所の城郭の動画配信にも力を入れたいと今後への活動の意気込みを語りました。

佐野さんは、以前から彼らの活動に賛同してパンフレットの印刷を支援しており、今後の彼らの活動にも期待を寄せていました。



■報告書記入者：原田 真理子

【第1分科会】（会場：佐野市田沼中央公民館大ホール 開始時間：12時45分）

■分科会名： ーひとー 『ひと』“だれもがしあわせに暮らしていくために”

■コーディネーター：（福）佐野市社会福祉協議会 総務福祉課 地域福祉推進係長 堤崎 正人

■事例発表者：①りあん訪問看護リハステーションさの コミュニティナース 五十嵐 康典

②就労支援センター風の丘 就労支援員 金子 愛美

③ファミリーホーム陽だまりの家 ホーム長 立川 俊一

■内容報告

①「人とつながりまちを元気にする～コミュニティナース～」



病院看護師、訪問介護等で患者と接し、核家族化や少子化により在宅での介護不足やネグレクト、高齢者の孤立、ヤングケアラー等社会問題が顕在化する中で、地域住民の相談相手や健康づくりを手伝い、病気予防・未病対策に貢献してきた。コミュニティナースとは、看護師に限らず様々な背景を持つ地域住民が、カフェや商店街、街のイベント等地域住民が日常的に交流する場所で、対話を通じて

関係を築き必要に応じて支援する存在である。コミュニティナースをもっと増やし、相互扶助による共生に寄与する誰もが立ち寄れる包括的な相談支援所の普及活動を行っていききたい旨の報告があった。

②「かなしみはちからに 自分の体験を誰かのために」

東日本大震災で生死と向き合う原体験から、福島でのスクールカウンセラー、佐野市での障がい者就労支援員の活動を通して、誰もが人間らしく幸せに暮らしていける社会を目指している。

就労支援は、働くまでの就労移行支援、働き始めてからの就労定着支援があり、絵などの創作活動や、算数の勉強、ニュースや時事解説、演奏会の企画や防災の時間など様々な活動を行っている。

相談に訪れる「人生で最悪な状態の人達」が、どう納得した生き方ができるか、悲しみ・欲望・怒り等の負の感情を否定せず人の弱さでつながり合える社会を目指し、前向きな行動や精神的強さへと昇華させるための道を共に探していきたいとの発表があった。



③「みんなで支え合って生きていく ～里親としての子育て～」

小学校教諭時代、家庭環境が原因で人間関係に難が生じる子に接し、生活の部分から子どもを支えたいと里親に登録し委託受け入れを開始。その後乳児院での職を経て自宅にファミリーホームを開設、子どもを迎え入れ実子とともに家庭で養育している。



親の病気や虐待等で家庭に暮らせない子どもを養育する場として施設養護と家庭養護(里親)があり、日本では前者8割、後者2割である。施設養護の課題は、職員の離職率の高さやその組織体制により養育者を失う体験を繰り返し、愛着形成が難しい。子ども達の笑顔を原動力に、子ども達の未来を支えるため、関係諸機関と協力し里親の認知を拡げ担い手を増やす活動も行いたい旨の報告がなされた。

■会場からの質問

Q コミュニティナースには気軽に相談できるのか。

A 現在佐野には数名しかいない。しかし各種支援センター等地域を支える考え方が広がりつつあり、相談できる場所は増えている。町会等での啓発活動により、その存在と気軽に相談できるような体制づくりを目指したい。

Q 就労支援の現場では、どのような難しさがあるか。

A コロナ時の求人数激減等、社会の動きに大きく左右される現場。人には変わらない普遍的なものがあり、そのような中でどう支援するかに難しさを感じる。

Q なぜ日本では施設の割合が多く里親が少ないのか。

A 海外では施設がない国もある。戦後日本は戦災孤児が多く発生し篤志家が施設を建てたのが原点で、後に行政が整備した。国も家庭的な小規模施設化や里親を増やす方針となり、里親登録者数・委託数も増加傾向にある。

Q 里親をするにあたり、ご夫婦で同じ考えのもと行えているのか。

A 夫婦でよく話し合い、お互いを尊重しながら折衷案を見つけ「仲良く」を大事に日々向き合っている。

■今後に向けて良かった点・反省点

質問アンケートは、回収とその開示までにタイムラグがあり、デジタル化(紙面との併用)ができたならより時間のロスが減るのではないかと感じた。

■感想・反省

全ての発表者の方に一貫して、「地域」で、それぞれの「人々のため」、出会いを活かし活動を啓蒙し「拡げて」いく、その熱い想いを感じた。

また、コーディネーターの堤崎さんの軽妙洒脱な司会進行は、会場を和やかな雰囲気にし、各発表者を「山男」の五十嵐先生、「チェロ弾き」の金子先生、「カラオケ好き」の立川先生と愛称を付けて呼ばれていて、より親しみを持って発表に聞き入る一助となったと思われる。

■報告書記入者：戸田 綾子

【第2分科会】（会場：佐野市田沼中央公民館大ホール 開始時間：14時30分）

- 分科会名：—まち— 「地域の笑顔を未来へ 人とのつながりを意識した活動を目指して」
- コーディネーター：佐野市市民活動センターここねっと センター長 岡部 孝雄
- 事例発表者：①米山南町会 町会長 石井 淳 補助者 松木 利正
②田沼上町西町会 町会長 安部 賢二 補助者 木村 政夫
③（一社）佐野青年会議所 副理事長 佐山 雅人 補助者 立川 俊一

■内容報告

①『そこに住んで良かったと思えるまちづくり』

米山南町会 米山南町会は米山南公園が人々のハブになっている。米山南公園の花づくり活動や夏祭り「米山南町ふれあいキッチンカー祭り」定期的なイベント（曜日ごとにあり）はつつ元気体操、ラージボール卓球、ふれあいサロン（お茶会）バラ園等活動も活発である。HP も作成しており、回覧板や情報が頻繁に更新されている。



<https://sites.google.com/view/yoneyama-3/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0?authuser=0>

②『「デジタル化による住民とのつながりを求めて」LINE とホームページへの取り組み』



上町西町会はLINE アプリとHP を使い町会の方々にタイムリーな情報を展開している町会である。

LINE の友達数は447名にも上り、回覧板情報や町内でおこった出来事等発信している。町会は、皆さんと共に災害時の対応、清掃活動、防犯灯・ごみステーションの維持管理、子供たちの登下校時の見守り等をしている。さらに隣近所との絆づくり、いざという時の相互扶助、伝統行事や

祭りの主催として地域のために様々な活動をしている。<https://kamisei.wepage.com/>

③『明るい豊かな社会に向けたまちづくり委員会の取り組み』

佐野青年会議所（佐野JC）は、若手経済人の視点から「郷土愛の醸成」を軸に活動。

直近は親子向け体験型事業（佐野らーめん調理等）やデジタルスタンプラリー、防災キャンプ、公開討論会の運営など、地域を学びの場に変える活動を牽引している。

<https://sanojc.or.jp/weblog/2023/>



三者三様のアプローチはあるが、『次世代に住みよい地域を繋ぎたい』という目的は共通していることが再確認された。

■会場からの質問

Q スマホなど操作で難しさを感じている人は多いと思います。利用者拡大の啓発は何かしていますか？

A スマホの操作についてはスマホ教室を開いていきたいと考えてます。マンツーマン方式で。

Q キッチンカーに視点を当て、お祭りにもしたきっかけは？

A コロナ禍を経て5年間お祭りが出来なかった、再開しようとしても人手不足でかつてのようにはいかなかった。町会の若い方からキッチンカーのお話を聞き町会長自らリサーチ、食し実現に至りました。

Q 青年会議所に入ったきっかけは？

A 自ら応募する人はほとんどいません。今年で青年会議所は61年になります。先輩方からの紹介や友達、繋がりから入会が多いです。同年代の方と活動できる楽しさや商売を通じた仕事の繋がり等、幅も増えていきます。

Q スマホを持たない人や高齢者へのフォローを含めて課題をどう乗り越えてきたか？

A 従来の回覧板方式は続けていく。意外と高齢者もスマホを持っている。今やっていることを地道に続けていく。

■今後に向けて良かった点・改善点

良かった点：各事例から、デジタル（HP・LINE）とアナログ（公園・イベント）の両面を組み合わせることが、幅広い世代を巻き込む鍵であることが共有された。

町会という伝統的な組織と、青年会議所という現役世代の組織がそれぞれの強みを活かして「地域への愛着」を育んでいる点を確認できた。

改善点：素晴らしい活動を「知っている人」だけでなく、「まだ参加していない層」へどう届けるかが共通の課題として見えた。

■感想・反省

感想：「地域の笑顔」を守るためには、情報の透明性を高める工夫（HP・LINE）と、実際に顔を合わせる場（公園・イベント）の両方が不可欠だと強く感じた。特に、若い世代が「自分たちのまち」を自分事として捉えるための仕掛けづくりは、今後の地域活動のヒントになった。

反省：発表内容が充実していたため、参加者同士の意見交換の時間をもう少し確保できれば、より具体的な協力体制の検討に踏み込めたと感じている。

■報告書記入者：阿部 康

楽 習 フ ェ ア

会場：佐野市田沼中央公民館 小ホール・保健資料室・大ホール

開催時間：3月7日（土）10時～16時 3月8日（日）10時～15時

今年度は田沼中央公民館にて開催しました。展示、体験・ものづくりなどのワークショップを3階小ホールと1階保健資料室の2か所で行い、大ホールでのステージ発表は、11組の講師らが日頃の楽習の成果を披露しました。

また、大ホール入口には参加講師らの紹介パネルの展示を行い、各講師の日頃の活動や成果をPRする場となりました。さらには会場の飾りつけなども行い、楽習講師の皆さんが協力し合ってイベントを盛り上げていました。



■小ホール・保健資料室

展示や体験では、土曜日には9組、日曜日には8組の講師がブースを設置しました。具体的には、「水生昆虫の観察」「カラー診断」「ストレスチェック」「水彩画」「きり絵」「レコード鑑賞」「囲碁」「かんたん楽器づくり」「書道」「篠笛」「つまみ細工」と幅広い分野での展示や体験活動の場を設けていました。また、佐野市図書館では「ブックリサイクル」のコーナーを設置していました。

来場者は子どもから大人まで幅広く、各ブースを訪れた皆さんが講師らと交流しながら楽しく、また熱心に体験等に取り組んでいる様子が多くみられました。



川に棲む水生昆虫の
展示と観察体験



カラー診断



ストレスチェック
(健康調査)



水彩画を楽しむ



きり絵



カフェタイムミュージック



脳トレ囲碁教室



つくってあそぼう♪
どうぶつおんがくたい



身近な書道



篠笛の体験コーナー



つまみ細工



ブックリサイクル

■ステージ

日曜日には、ステージにて11組の参加者らが発表を行いました。「フラダンス」「日本舞踊」「太極拳」「篠笛演奏」「詐欺に関する寸劇」など様々な発表を披露し、講師らの日頃の成果を実感できるステージ内容でした。会場も盛り上がりを見せていたように思えます。



フラダンス



楽しく踊って着物美人に!!



篠笛演奏



フラダンス



日本舞踊



楽しいフラダンス



寸劇「手渡し型オレオレ詐欺」



楽しい太極拳



フラダンス



歌謡舞踊の発表



フラダンス

■成果と課題

- ・ ステージ、出展ともに幅広い分野となりました。
- ・ 会場全体を使って発表、出展などが行えました。
- ・ 展示の会場が分かれてしまったのがデメリットでした。
- ・ 1階の部屋の位置が悪かったと思います。
- ・ PR不足を感じます。
- ・ 会場が静かで入りにくい時があったのでBGMなどあると良いと思います。
- ・ 飾りつけや講師パネルの設置で楽しい雰囲気づくりやPRができました。

静のアート作品展

会場：佐野市田沼中央公民館 3階展示室

開催時間：3月7日(土) 10時～16時 3月8日(日) 10時～15時

生涯学習活動の一環として、日頃から創作活動に取り組まれている方々の発表の場でもある「静のアート作品展」。絵手紙・書道・絵画・手芸・工芸など幅広い分野から、40名の方々の素晴らしい力作が60点以上展示され、来場された方々を魅了しました。昨年と会場が変わりましたが、多くの方に出品していただきました。繊細で丁寧な制作されている作品、大きく迫力のある作品、明かりを灯した作品など様々で、作者の想いの込められた作品の数々に来場者の方々も瞳を輝かせながら鑑賞されていました。

■作品分野一覧

1. 絵手紙 2. 写真・手芸 3. 詩 4. 押し花 5. せっけんアート 6. 彫刻 7. 書道
8. 写真(カレンダー) 9. 俳句 10. 絵画 11. ちぎり絵 12. はがき絵 13. 色紙絵
14. 手芸 15. 工芸 16. 革工芸



絵手紙



押し花/せっけんアート



書道



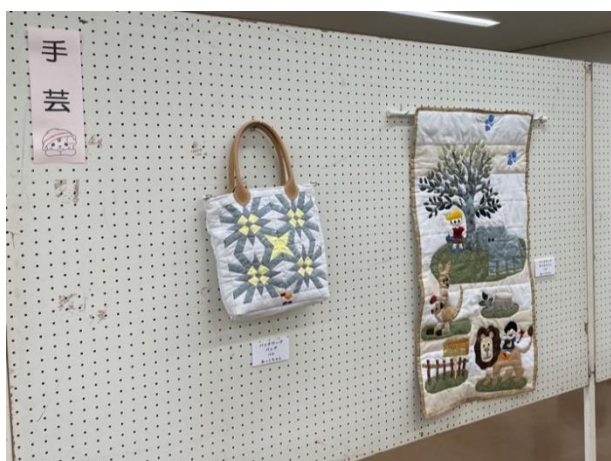
書道/写真(カレンダー)/俳句



絵画



はがき絵/色紙絵



手芸



工芸/革工芸

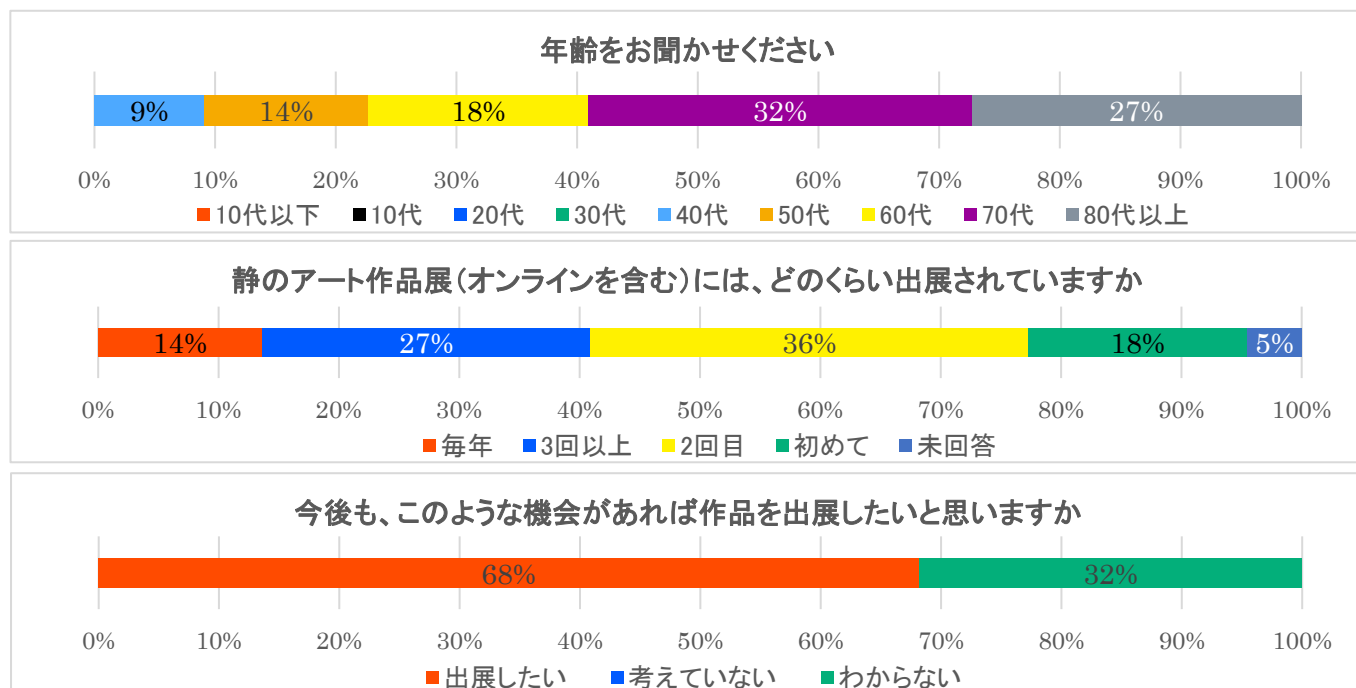
2日間で延べ237名の来場があり、静かな空間の中にもにぎわいを感じる場面もありました。

また、来場者アンケートでは、「自分では細かい手作業を行えないため、作品の素晴らしさに感動、感激しました。」「作品がすてきでした。どういう方が作っているのだろうと想像しながら見させていただきました。」「すばらしい作品、とてもよかったです。小さな絵にも心がこもっていて感動しました。」「とても楽しかった。すばらしい作品が見られて良かったです。」など、感動の声が多く寄せられ、来場者の心を動かす作品展となりました。一方、「もっとたくさんの作品を見られると良い。」「会場が静かなので、クラシックなどのBGMを流してほしい。」といったご意見もあり、今後の作品展に生かしていけたらと思います。



静のアート作品展 アンケート結果（抜粋）

【出展者】



【来場者】



資 料

**（実行委員会会議経過・アンケート結果・
協賛協力者一覧・実行委員一覧）**

佐野市生涯学習フォーラム実行委員会経過

期 日	内 容
【第 1 回役員会】 令和 7 年 6 月 1 2 日(木) (佐野市役所)	・ 令和 7 年度第 1 回実行委員会について
【第 1 回実行委員会】 令和 7 年 6 月 3 0 日(月) (城北地区公民館)	・ 本年度のフォーラムの開催要領(案)について ・ 実行委員会収支予算(案)について ・ 今後のスケジュール(案)について
【第 2 回役員会】 令和 7 年 1 1 月 6 日(木) (佐野市役所)	・ 第 2 回実行委員会の期日と場所について ・ 第 2 回実行委員会での議題について ・ キッチンカー・さのまるの派遣について ・ 手話通訳について ・ 対談者(佐野高校 S G クラブ)への謝礼について
【第 2 回実行委員会】 令和 7 年 1 2 月 4 日(木) (城北地区公民館)	・ 各部会の進捗状況について ・ 報告書編集委員について ・ 協賛について ・ 田沼中央公民館のレイアウトについて ・ 今後のスケジュールについて ・ 佐野日本大学短期大学の視察結果について
【第 3 回役員会】 令和 8 年 1 月 2 0 日(火) (佐野市役所)	・ 佐野短大での開催について ・ 第 3 回実行委員会の期日と開催場所について ・ 第 3 回実行委員会での議題について
【第 3 回実行委員会】 令和 8 年 2 月 2 5 日(水) (書面会議)	・ 各部会の進捗状況について ・ 会場レイアウトについて ・ 今後のスケジュールについて ・ 佐野日本大学短期大学でのフォーラム開催について
【第 4 回役員会】 令和 8 年 4 月 1 3 日(月) (佐野市役所)	・ 収支決算について ・ 第 4 回実行委員会について ・ 令和 8 年度生涯学習フォーラムについて
【第 4 回実行委員会】 (予定) 令和 8 年 5 月 1 5 日(金) (佐野市中央公民館)	・ 令和 7 年度の事業報告について ・ 令和 7 年度の収支決算報告について ・ 令和 8 年度の実行委員会について

佐野市生涯学習フォーラム「佐野楽」

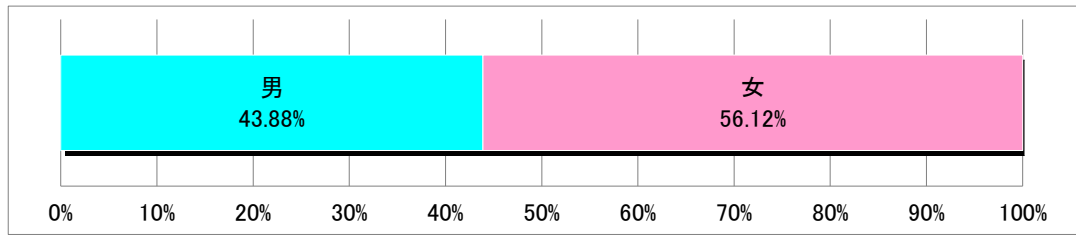
アンケート結果報告書

(当日一般参加者・来場者)

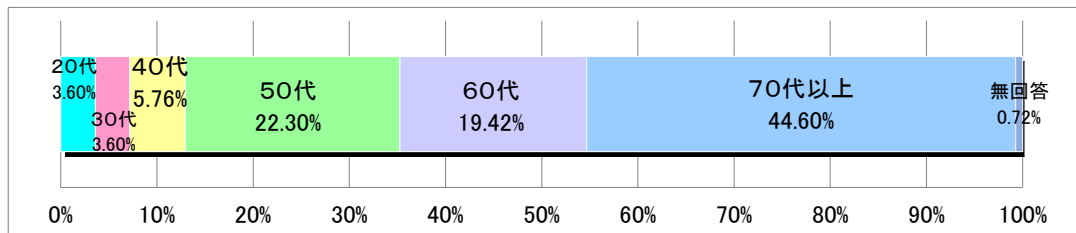
フォーラム実行委員会事務局
(佐野市教育委員会生涯学習課)

1 来場者分析

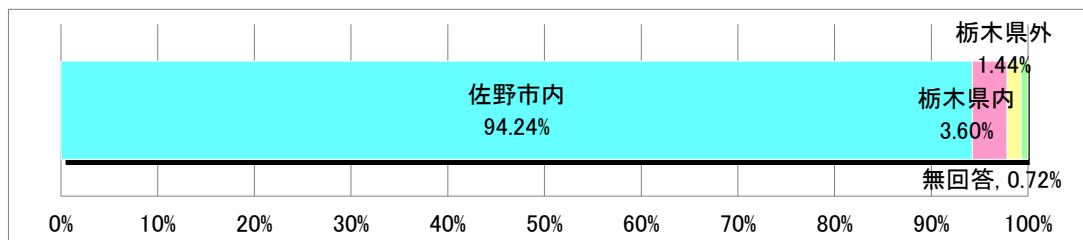
① 男女別参加割合



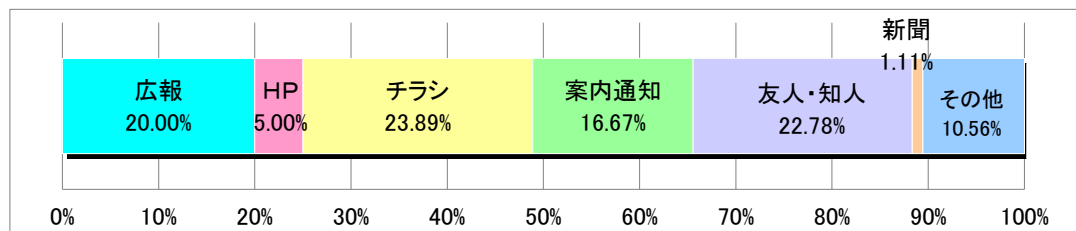
② 年代別割合



2 地域

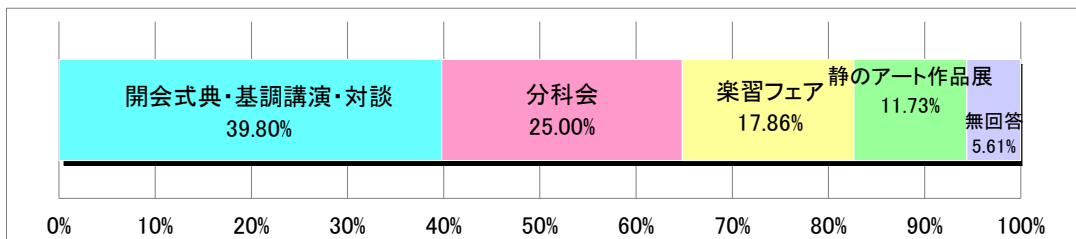


3 フォーラム参加情報の入手手段（複数選択可）

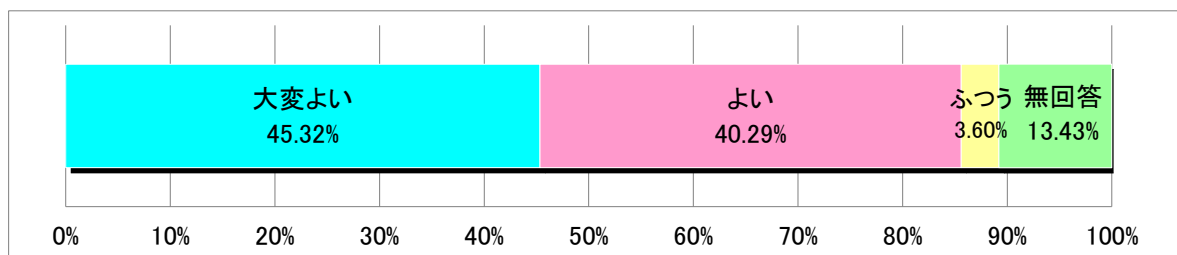


その他 佐野市のLINE、妻、家族、子供、知人より、親

4 フォーラムで参加した行事

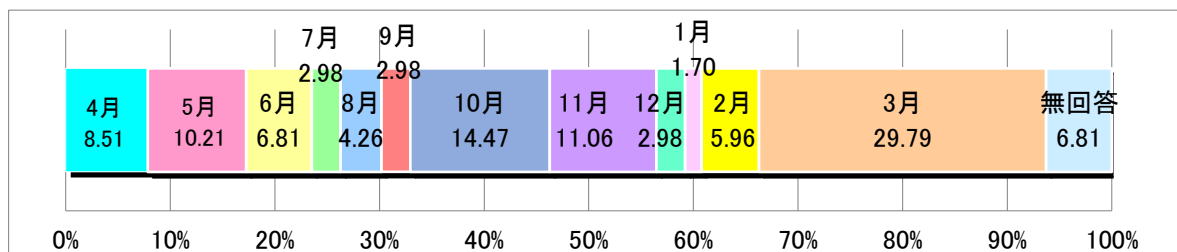


5 フォーラム全体の評価・感想

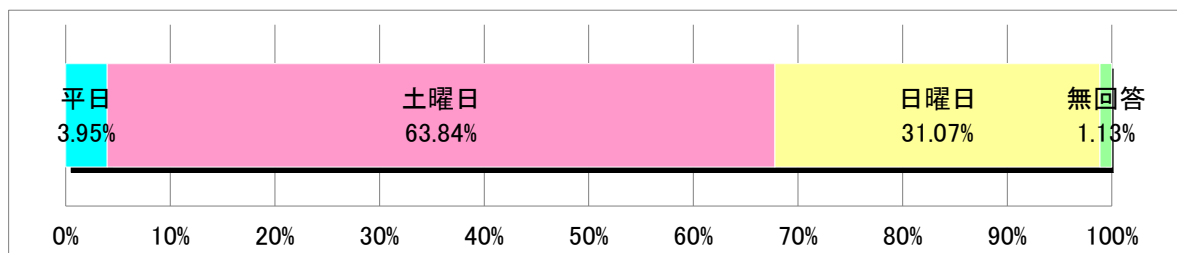


6 今後の開催希望時期等

① 開催月について（複数選択可）



② 開催曜日について（複数選択可）



7. 本フォーラムで感じたことや、日ごろから生涯学習に関して感じていること。

《 主な自由意見 》

- 生涯学習するためには、支援が必要だと思いました。
- 新しい歴史、城あるか 分析・研究運用で期待しております。 地域の各町内。
- いろいろなことについて情報ありがとうございます。
- 皆さん楽しそうで良かったです。私のはげみにもなりました。
- とても良かったです。
- 基調講演とてもよかった。写真がもう少し大きければもっとよかったのではないかと思った。
- 佐野在住でありながら知らないことが多く、唐沢山神社の新発見が有り大変勉強になりました。
- 高校生と宮司の対談がよかった。佐高生自身の言葉、考え、感心した。唐沢山城のことが、今まで知らないことがわかった。パンフレットよくできている。S Gクラブの今後の発展を願っています。
- 神社を身近に感じられるようになった。
- 神社のしくみ良かった。
- 基調講演、唐沢山神社の知らないところが知れてよかった。市外へPRしていきたい。
- 当初の目的は達成されていると思うので、廃止してもいいと思います。
- 歴史学習を深めて、くり返しやってほしい。
- 最近、中学生や高校生の参加もありうれしく思っています。ご家族か小さいお子さんも客席に…。学校単位でなく、主体的な子どもの参加が増えていくといいなあと思います。その内容・企画をぜひお願いします。佐野さんのご講演は、元アナウンサーの宮司さんならではの楽しく興味深いもので、初耳もたくさん!!まさに「楽習」でした。由緒ある別表神社であり、そして遠足やキャンプの思い出多い唐澤山神社。新たなアイディアもプラス。「持続と変化」唐澤山神社を誇りに思います。
- 宮司さんの話、楽しくて面白かったです。
- 活やくの場があるのはいいことだと思いました。
- 私は、4月で78歳になりますが、現在も健康で会社勤務しています。私も人を教育する会社での技術を海外（中国、インドネシア、タイ、チェコ）国内（伊勢崎、滋賀、四日市、金山）など拠点工場に人をそだてるべく今も動き回っています。生涯学習は、人をそだてるのにとっても良いと感じています。機会あれば今後も参加したいです。
- 休日のひまつぶしなので、このようなもよおしをお願いします。元パチンコ中毒。障害者就労です。
- 分科会、せっかくのいい発表をできるだけ多くの人に聞いてもらいたいですね。
- 唐沢山城跡に関する歴史イベントを発信してほしい。
- 2階ホールの天井エアコンの風が強く寒い!!（風邪引いてしまう!!）

- 佐野市内にも、たくさんの芸術の力を持った人がいるので、もう少し参加して頂きたい。作品数が少し物足りないです（昨年も俳句は私一人でした）。
- 防災にとっても興味があります。
- 町会の役割を改めて痛感しました。とても良かったです。各町会でもこのような活動ができるとういと思いました。市政についてもこのような催しがあるとよいです。
- よかったです。
- 参加者が少ないので、会場を変えた方がよいと思う。歩いて行ける会場ならば、来場者が増えると思う。
- 初めて参加しました。幸せにкраしたいと願っているとは、誰でも思いますが、掘り下げて、話を聞けて、改めて考えることもありました。
- 大変勉強になりました。
- 人生百年時代と言われておりますが、100歳までは無理でも、残りの人生をただ無為に過ごすのは勿体無いと感じるこの頃。ボランティア活動だけでなく、打ち込める別の事を見つけるヒントにこのフォーラムがなったかなと思い、参加して良かったです。
- 佐野市文化会館が使用できるのであれば多くの会場を使用し、1日間の開催がよいと思います。
- 本人の意志と、学びやすい環境が大切だと思う。

普段唐澤山神社の宮司さんのお話を機会がなかなかないので講演に参加出来て良かったです。

- 鳥居の石が笠間の石で出来ていたと知らなかったことが知れてました。高校生の対談も良かったです。高校生たちのお城愛が伝わってきました。若い人の思いや心の声が聞けたのも良かったです。佐野市にこんな大きな山城というお宝があって地域の魅力を広め発信することで佐野市が活性化していくという考えが素晴らしかったです。ぜひアイデアを出して唐澤山城に多くの人に来てもらいたいです。
- 分科会で話が聞けて良かった。

8. 本フォーラムを通して、佐野市の生涯学習についてどう感じたか。

- もっとさかんになってほしいし、皆に知ってほしいです。
- 長年見てきたが、皆さん楽しんでおられて素晴らしいです。
- 内容は参加で参考にして。
- やっぱり役に立てて よかったと思います。
- 出来れば やってみたい。
- 多くの生涯学習団体があり、参加したい気持ちになった。
- どの部分も素晴らしいと思いました。
- 今後も是非継続してほしい～多数の団体の参加があると良いと思います。
- 高校生たちががんばって推してくれている城や神社をもっと学ぶ機会があると良いと思いました。
- 佐野市の歴史を改めて知ることができて良かったです。
- 頑張っている。
- 大変良い取り組みと感じました。
- ひとりものですが、休日は佐野、足利、栃木、小山の市のもよおしに参加しています。元パチンコ中毒です。障害者就労です。
- 新しい事の学びを感じました。
- 子どもたちが参加できるものもあるとよいかと思います（春休みに開催としてもよいかと）。
- 他の市町村よりしっかりしてよい。
- 佐野氏の講演が良かった。学生の参加型もとても良い。
- せっかくのフォーラムなので多くの人に参加してもらいたい。どうしたら参加者が増えるのか？
- 実力を持っている人は佐野市内に沢山いますが、こういった会に参加してくれる人が少ない。
- はげみになります。
- よい催しと思います。
- 人のつながりが大切だと感じました。
- 機会があったら、参加したいです。
- これからも、このようなフォーラムを開いていただき、参加者をたくさんつのってほしい。
- 参加者が多くて、準備から大変だったと思います。
- いろいろな場所でたくさんの方が活躍していることがよく分かりました。

- 私より年配の方々が生き生きと活動している姿は、とても励みになりますし、自分もこれから頑張って何かを始めたいと思います。
- 『多様性』という『粹』の中でのお話に限らず、本当の意味で広い視野での物事の議論が必要だと感じました。『自分の意見は正しいんだ』という思い込みは極めて危険であることも認識することができました。
- 自分が知らなかっただけで、町会がデジタル化を取り入れていたり、いろんな活動をしていることが知れて、勉強になりました。
- 生涯にわたり学びの大切さを知れました。
- 自分も何かやってみたい。

9. 特色ある生涯学習活動を行っている団体について、お聞かせください。

○ 中学生の伝承歌舞伎。

○ シルバー大、そのOB会。

○ 普段は会社勤めや、海外出張とかさなり始めて参加しましたので良くわかりません。語学教育（中国語講座など以前参加）海外支援を今も行っていますので、活動なども、含まれると思いました。

○ 毎年7月開催される郷土史の勉強会。統合失調症の勉強になります。

○ シルバー大学南校含め佐野OB会 ⇒ 素晴らしいです。

○ 小山。

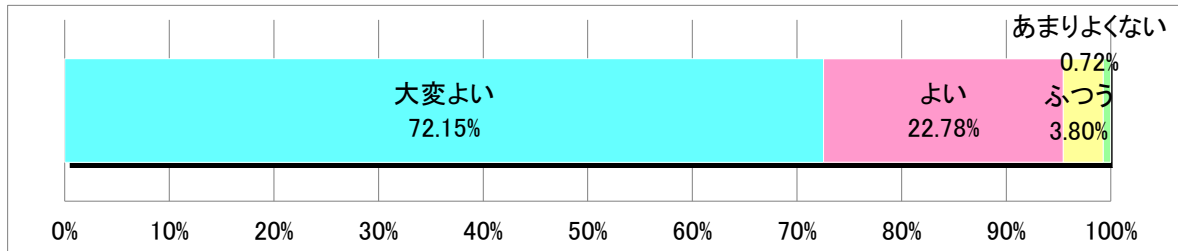
○ 子ども食堂に関して、佐野市にどの位あるか、運営はどのようにだれが実施をしているのか、利用者はどの位いるか（年齢層は？）費用は、市からの補助はあるのか、等。

○ シルバー大学校南校佐野支部同窓会。

○ 藤原秀郷をヒーローにする会。

フォーラム各行事の評価・感想

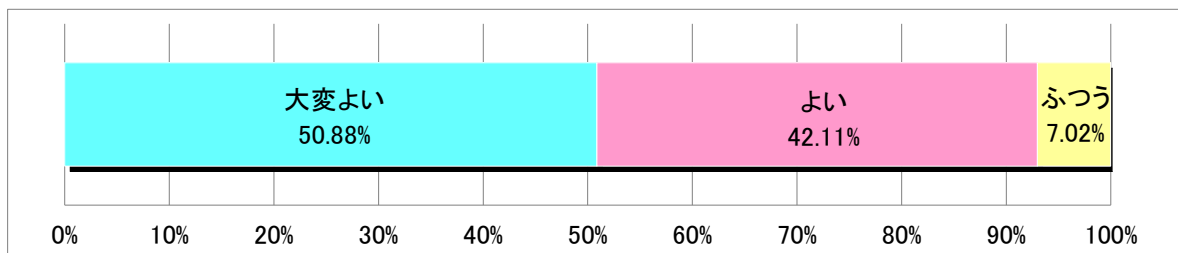
10 開会式典・基調講演・対談



【主な意見】

- ・ 佐野市のSGクラブの発表が大変良いと思いました。今後も若者の発表があると良い。
- ・ 佐野の歴史を聞きたい。
- ・ 田中正造について。
- ・ ブランド大使（ダイヤモンドユカイ、ドタマ）の話が聞きたい。市出身。
- ・ その道に長くたずさわった人の生涯など、体験講話など良いと思います。

11 分科会

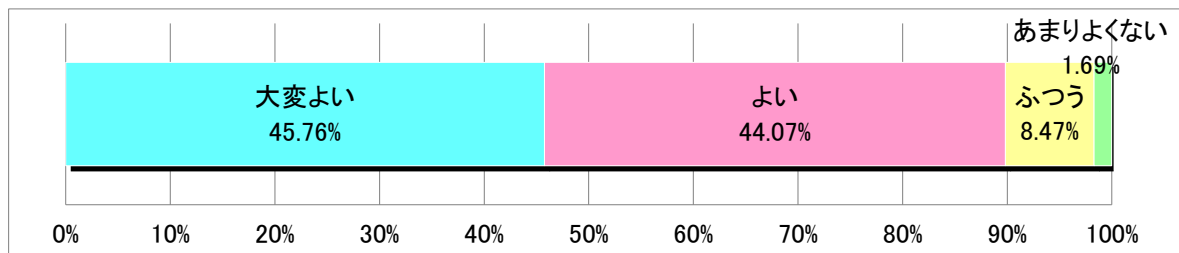


【主な意見】

- ・ 地域 日常生活？
- ・ 情報向上心地域、交通ルールなどの方法？
- ・ 最初の頃は見ている人が少ないのが気になりました。間に芸能人（まんざいの人）でもはいると観客が多くなるのでは！
- ・ 町会の発表かなー、ITも、たいへん良い。
- ・ 社会福祉のボランティアについて 実際に接している方（やられている方）。
- ・ 平和、環境保護、人権。
- ・ もう少し小さい部屋で良いと思います。
- ・ LGBTQ、性的マイノリティを教えるようなもの
- ・ 環境保全に活動している例。

- 基調講演と分科会は昼時間をまたがないで、午前中または午後からと続けてのスケジュールが良い。今回は基調講演が終わったら多くの人が帰ってしまい分科会の観客は閑散としていた。出来れば午後1時からプログラムを始めるのがいいと思います。
- ・ 多くの人に参加できる体験型があるといいと思います。

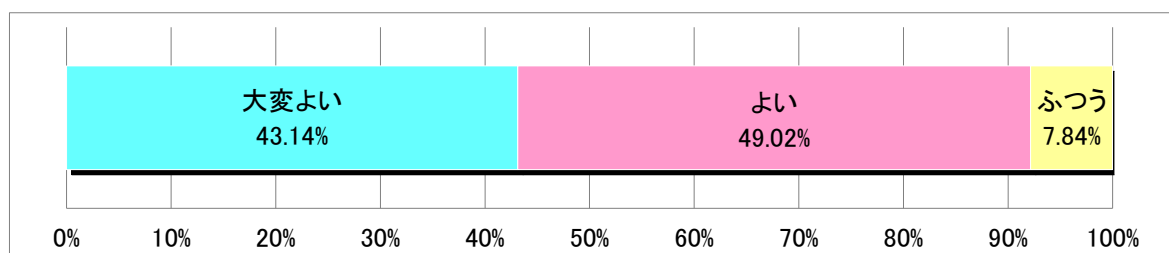
12 楽習フェア



【主な意見】

- ・ いい参考になりました。
- ・ どちらとも言えない。
- ・ 篠笛の時、音楽が大きくて、笛の良さが、出ないのではと思います。
- ・ フラと太極拳がとても良かった。日本舞踊も真剣な演技に感動しました。
- ・ 見やすかった。
- ・ 心のこもった作品ばかりでした。すばらしい！
- ・ もっと近くにかたまってあったほうがよいと思いました。
- ・ 分科会に1日参加しているとブースを見る時間がないです。
- ・ 良かったと思います。
- ・ よかった。
- ・ 良かったです。
- ・ ブースに音楽があったら良いと思います。
- ・ かわいかった。明るくて。
- ・ 子ども向け工作に参加して、とてもよかった。
- ・ ステージを見られなくて残念です。
- ・ 大変良かった。心がこもっていた。
- ・ こどもが楽しそうに参加していた。
- ・ 読みたい本があってよかった。

14 静のアート作品展



【主な意見】

- ・ 静のアートも良かったです。
- ・ とても来て良かったです。
- ・ 静のアート展にもっと出展して欲しい。佐野にはもっともっと良い作品を作る人がいっぱいいます。

15. 各イベントの感想

《 主な自由意見 》

- まだ、続けたいと思います。
- 遠いので、お客様が少ないのがもったいなかった。
- 皆様の努力がうかがえました。とても良かったです。
- 唐沢山宮司、佐野さんのお話、唐沢山神社の今昔が良く分かりました。
- 久～しぶりに 佐野市歌をききました。よかったです。
- 基調講演 対談 高校生のパンフレットがわかりやすく市のPRに持続的に使ってもらいたい。来年もパンフレットを作ってもらいたい。
改めて我が佐野市には、すてきな「もの・こと・人」がたくさんいらっしゃる、あることを感じました。人生100年。私も人とつながり、楽しく学び、イキイキ人生送りたいです。ありがとうございました。
- よかったです。
- よかった。
- 1日通し参加の場合、昼食の時間が少し短と感じました。
- とてもよい企画で勉強になりました。企画運営たいへんかと思います。ありがとうございます。
- 講話、対談とても楽しかったです。映像の映写も工夫されていましたが、切りかえがすこし難しかったかな？
- さのまるが来てくれて、良かった。
- 会場への案内表示が交差点などにもあるとよいです。
- 参加者が少数で、せっかくの機会ですので、声かけが必要だと思います。
- 午後の参加者が少なかったのが残念です。とてもよい内容でしたので、各地域を知ってほしいため、ぜひ参加をすすめてほしい。
- 分科会でのテーマがとても良かったです。もっと市民の方に観ていただきたいと思います。
- 佐野高校SGクラブの方達が作成した、唐沢山城跡のパンフレットは、今までにない新しい視点（佐野氏について）で作られていて、それ以外についても非常に興味深い内容でした。若いうちに佐野に城がある事を知り、郷土に理解を深める事は、郷土愛を育む上で大切だと感じました。
- 貴重な経験になった。

【協賛協力者一覧（順不同・敬称略）】

Hula O Keolaoka' aina	若柳流幸扇会
小林 貴代	永倉 文子
花柳 瀧三郎	廣瀬 恵子

佐野市生涯楽習フォーラム「佐野楽」へのご協力ありがとうございました！



佐野市生涯学習フォーラム２０２６「佐野楽」実行委員

区分	団体名・職名等	委員名	担当
会長	NPO法人COCO A	永倉 文子	
副会長	グループ・わっくる	廣瀬 恵子	講演会総括
〃	佐野日本大学短期大学	亀田 和則	分科会総括
委員	佐野市PTA連合会	阿部 康	第２分科会
〃	さのフォーラム	岡部 孝雄	第２分科会
〃	(株)ケイミックスパブリックビジネス	柄澤 晃一	講演会
〃	佐野市町会長連合会	坂井 正巳	第２分科会
〃	(一社)佐野青年会議所	佐山 雅人	第２分科会
〃	NPO法人植野たすけあい	島田 和雄	第１分科会
〃	佐野農業協同組合	関根 賢司	第２分科会
〃	男女共同参画ネットワークさの	田中 成美	講演会
〃	読み合いサークル「こころ」	戸田 綾子	第１分科会
〃	笑顔づくり隊	永島 典子	第１分科会
〃	佐野市国際交流協会	原田 真理子	講演会
〃	栃木県女性教育推進連絡協議会佐野	武藤 純子	第１分科会



佐野市生涯学習フォーラム